

別紙-2 システムの機能要件一覧(現行システムの機能一覧)

以下は現行システムの機能一覧です。記載されている帳票名称等は現行システムのものですが、新システム構築にあたっては名称等を変更していただいて構いません。同様の機能・帳票が出力できれば問題ありません。

No.	業務名	No.	機能	No.	業務処理名	機能要件	
1	システム全般	1	法改正、料金改定対応	1	法改正、料金改定対応	<ul style="list-style-type: none"> ■制度改正(消費税法、電子帳簿保存法、民法改正等)に適切に対応できること。 ■水道料金、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料の改定へ対応できること。 	
		2	DXの推進	1	DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■既存の電子申請システム「Logoフォーム」の活用、または同等システムの導入を踏まえ、電子申請から料金システムへの自動入力(データ連携、RPA等)を可能とすること。 	
		3	帳票管理	1	消込帳票	<ul style="list-style-type: none"> ■以下の帳票はプレビューと印刷ができること。 ①入金報告書 ②サマリー上水道(OCR、口座) ③サマリー下水道(農集)(OCR、口座) ④還付金対象者一覧表 ⑤納付書消込結果リスト ⑥納付書消込チェックリスト(エラー一覧(分納、過誤納)) ⑦消込全件リスト ⑧収納明細一覧表 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨収納消込エラーリスト(確報) ⑩速報消込エラーリスト ⑪受信データブループリント(速報、確報の一覧) ⑫振込予定金額集計表 ⑬収納日計表 ⑭口座振替データ消込結果リスト ⑮口座振替データ消込チェックリスト ※必要に応じてデータ抽出ができること。 ※②～③の帳票はCSV形式で出力できること。
				2	調定帳票	<ul style="list-style-type: none"> ■以下の帳票はプレビュー、印刷ができること。 上水 ①上水道総合統計表 ②上水口径別用途別使用水量統計表 ③調定更正集計表 ④配水系別調定集計表 ⑤上水口径別業態別使用水量統計表 ⑥収納状況表 ⑦納入区分別調定集計表 ⑧調定更正詳細一覧 ⑨上水調定更正詳細一覧 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■以下の帳票はプレビュー、印刷ができること。 下水、農集 ①下水道用途別段階別使用水量統計表(下水、農集) ②調定更正集計表(下水、農集) ③下水調定更正詳細一覧(下水のみ) ④収納状況表(下水、農集) ⑤調定一覧表(農集のみ) ※必要に応じてデータ抽出ができること。
				3	統計帳票	<ul style="list-style-type: none"> ■以下の帳票はプレビューと印刷ができること。 ①給水台帳 ②未納者一覧 ③調定、納付状況一覧 ④使用水量順位表 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 ■データ切り出し等の機能を有すること。 	
4	運用支援	1	運用支援	<ul style="list-style-type: none"> ■一括バッチ処理(手動、予定自動運用)に対応し、一括バッチ処理中にエラーが発生した場合は、ログにエラーメッセージを記録できること。 ■一括バッチ処理結果をログとして管理できること。処理が異常終了した場合は、ログから原因を解消後、再実行が容易にできること。 ■一括バッチ処理の処理履歴を管理し、正常終了、異常終了等の経過状況が画面で確認でき、過去に遡って処理日時等を確認できること。 ■外字の登録、入力、出力が可能なこと。 ■業務担当者が使用できる画面は、操作権限ごとに任意に設定できること。 ■業務担当者間で連絡事項(対応記録等)の登録、表示ができること。 ■将来的な機能拡張として、指定する他システム(現在想定はない)との連携が可能であること。 			
5	マスタメンテナンス	1	金融機関マスタ更新	<ul style="list-style-type: none"> ■金融機関の合併、支店の統廃合による口座振替金融機関の修正ができること。 			
		2	料金改定、税率変更	<ul style="list-style-type: none"> ■料金単価、税率、有効期間をデータベースに保持し、料金改定等が容易であること。 ■インボイスに対応していること。 			
		3	業務担当者登録、修正	<ul style="list-style-type: none"> ■委託者業務担当者、受託者業務担当者の所属名、氏名、登録番号等を登録、修正でき、業務の処理範囲を設定できること。 			
		4	検針情報修正	<ul style="list-style-type: none"> ■検針人名、検針地区等の検針情報を管理できること。 ■検針区内の検針順路(足順)の設定、変更を検針区ごとに行う機能を有すること。検針順路(足順)内へ追加登録が可能であること。 ■検針票に記載される水栓契約者(水栓使用者)あての通知メッセージを変更できること。 			

No.	業務名	No.	機能	No.	業務処理名	機能要件		
2	受付業務	1	検索機能	1	検索機能	<ul style="list-style-type: none"> ■お客様番号、給水装置設置場所、水栓契約者(水栓使用者)氏名(カナ、漢字)、メーター番号、電話番号、口座情報等、登録されているそれぞれの項目で給水装置設置場所の検索が行えること。 ■検索項目を組み合わせて、複合検索による絞り込み検索ができること。 ■カナ検索については大文字、小文字、清音、濁音を同一視して検索できること。 ■最新水栓契約者(水栓使用者)のみ検索、旧水栓契約者(水栓使用者)を含めた検索等の条件を設定して検索ができること。 ■部分一致検索ができること。 		
			2	照会	1	水栓契約者(水栓使用者)情報等照会	■水栓契約者(水栓使用者)情報、料金、給水装置設置場所、検針履歴、未納、過誤納、開閉検履歴、受付履歴、変更履歴による照会ができること。	
		3	受付			2	問い合わせ対応	<ul style="list-style-type: none"> ■同一給水装置の水栓契約者(水栓使用者)の世代管理ができ、調定、収納情報は該当する水栓契約者(水栓使用者)の情報のみが表示されること。 ■完納、未納にかかわらず、すべての調定情報を確認できること。 ■調定確定日前でも検針後の予定調定情報がシステム内で確認できること。 ■使用月数、水量等の情報をもとに画面で料金の試算ができること。 ■調定情報、請求履歴、入金履歴の情報は過去20年まで保存でき、水栓契約者(水栓使用者)毎に調定画面から各履歴画面に推移して参照ができること。
					1	開始受付	■開栓の受付ができること。	
					2	中止受付	■中止の受付ができること。	
					3	中止開始(名義変更)受付	■同日による中止、開始、名義変更(世代管理)の受付ができること。	
		4	水栓契約者(水栓使用者)情報更新			4	問い合わせ受付	■水栓契約者(水栓使用者)からの届出、問い合わせを、対応履歴として登録できること。
					1	水栓契約者(水栓使用者)情報登録、修正、削除	■水栓契約者(水栓使用者)の送付先、口座、水栓契約者(水栓使用者)名、電話番号等の水栓契約者(水栓使用者)情報の登録、修正、削除ができること。	
					2	用途変更	■料金算定に関わる用途の変更ができること。	
					3	装置場所住所変更	■給水装置設置装置場所の住所、方書の修正ができること。	
					4	口径、メーター変更	■口径、メーター番号の修正ができること。	
					5	水栓その他変更	■給水原簿の設計番号、申請日、配水系等水栓情報の修正ができること。	
		5	宛名印刷	1	宛名印刷	■料金システム上に送付先がある場合、給水装置設置場所、送付先のどちらの宛名を出力するか選択できること。		
3	開閉栓業務	1	使用開始	1	使用開始	<ul style="list-style-type: none"> ■開栓作業は開栓に必要な情報を参照し、開栓時指示数、開栓結果の入力を行えること。 ■開栓結果を即時参照できること。 ■メーター位置を登録できること。 ■メーター指針の確認のみの運用に対応できること。 ■次の項目が開栓作業画面に表示されること。 お客様番号、開始日、住所、水栓契約者(水栓使用者)名、電話番号、連絡事項、メーター番号、口径、メーター検満年月、メーター位置、前回指示数、届出人名、届出人連絡先、手数料の有無等		
			2	使用中止	1	使用中止	<ul style="list-style-type: none"> ■閉栓作業は、閉栓に必要な情報を参照し、閉栓時指示数、中止結果の入力を行えること。 ■閉栓結果を参照できること。 ■メーター位置を登録できること。 ■メーター指針の確認のみの運用に対応できること。 ■次の項目が開栓作業画面に表示されること。 お客様番号、中止日、住所、水栓契約者(水栓使用者)名、方書、電話番号、連絡事項、メーター番号、口径、メーター検満年月、メーター位置、前回指示数、届出人名、届出人連絡先、手数料の有無等 ■精算分の使用水量のお知らせ(精算ハガキ、検針票等)の発行ができること。	

No.	業務名	No.	機能	No.	業務処理名	機能要件		
4	検針業務、機器	1	検針業務、機器	1	検針業務、機器	<ul style="list-style-type: none"> ■現地のメーター指示数を確認し、その場で検針結果を検針端末に入力し、使用水量、料金の算出、更新を行えること。 ■検針後には検針端末より検針票を発行できること。記載する内容は検針日、使用水量、請求予定額(インボイス対応)、前回口座振替結果を記載すること。 ■検針時に異常水量、漏水等の各種異常があった場合、検針端末に異常報告として登録し、検針票等を介して通知できること。また、業務担当者に対しては料金システムから異常報告確認等で内容を参照することができること。 ■検針時に検針端末に登録された異常報告内容を料金システムから「検針登録結果異常報告リスト」として出力できること。 ■集合住宅等メーター位置と集合ポストが離れている場合等は後からまとめて検針端末から検針票(インボイス対応)を出力できること。 ■検針端末、料金システムから検針票(インボイス対応)の再発行を行えること。なお、料金システムから検針票を再発行する場合はA4サイズ等で差し支えない。 ■料金システムから請求先別(請求番号ごと)にまとめて検針票(インボイス対応)を再発行できること。 ■検針終了後データについて、検針データ抽出時の状況と異なるもの等の異常について一覧を確認し、随時手処理で調定有無を判断し料金システムに入力できること。 ■使用水量が一定以上の場合、料金システムから「過剰水量チェック表」として一覧を出力できること。 ■検針漏れチェック表を出力できること。 ■検針機器はハンディターミナル、または検針タブレット(プリンター)とすること。 ■検針機器は料金システムと連携可能であること。 		
				2	検針管理	<ul style="list-style-type: none"> ■既に登録済みの検針結果の履歴に対し、検針日、指示数等の数値が修正できること。また、新規に検針履歴を作成できること。 ■メーターごとに検針区、検針順等の検針情報、メーター情報を修正できること。 		
		2	メーター管理	1	メーター情報登録、修正	<ul style="list-style-type: none"> ■メーター取替えに係る次の情報を登録、修正できること。 メーター番号、メーター検満年月、メーター種別、口径、メーカー名、位置、取替日、取外示数、取付指示数、取替事由(選択)等 		
				2	検満メーター抽出	■条件を設定し、取替対象となる検満メーター情報等を抽出し、CSV等で出力できること。		
				3	水道メータブループリント出力	■メーター取替情報一覧表をCSV等にて出力できること。		
				4	メーター取替入力	<ul style="list-style-type: none"> ■メーター取替の作業内容を登録できること。(指示数、メーター番号、検満年月) ■作業内容の対応履歴を入力できること。 ■検満メーターの交換作業内容をエクセルデータ等から取込み、一括登録できること。 		
				5	報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> ■メーター取替に関する一覧表等(CSV出力等)を出力できること。 ■検満メーターの交換処理(一括登録、随時登録)した場合に、交換結果一覧表を出力できること。 		
		3	メーター集計	1	メーター集計	■毎月隔月の別、メーター種別、開閉栓状況、個数を集計でき、一覧表等(CSV出力等)を出力できること。		
		5	調定業務	1	調定処理	1	定期、随時調定	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月、検針当月末日から5日以内に料金等の調定を一括確定できること。 ■随時、検針日から5日以内に料金等の調定を確定できること。 ■多治見市給水条例等に規定する料金の算定ができること。
						2	中止調定	■中止作業時に確認した指示数をもって使用水量を算出し、料金を調定できること。
2	調定変更			1	漏水減額	<ul style="list-style-type: none"> ■減免に対応し(任意の減量も含む)、調定変更ができること。 ■多治見市水道事業給水条例、同条例施行規程に規定する料金の軽減、または免除計算ができること。 ■減免通知書、決議書、内訳書が発行できること。 		
				2	認定精算	■検針時において、使用水量を認定した場合、次回以降の検針時に行う料金の精算計算ができること。		
				3	調定異動	■調定後料金を変更できること。		
3	請求			1	納付書	<ul style="list-style-type: none"> ■口座登録の有無に関わらず納付書を発行できること。 ■料金の変更、分納等に対応するため、納付書を再発行できること。 ■納付書の再発行時は金額と納期限(取扱期限)を指定して発行できること。 ■コンビニ、スマホ決済、QRコード払いに対応できること。 		
				2	口座振替	<ul style="list-style-type: none"> ■対象者の各金融機関毎口座振替データを作成できること。 ■振替口座登録後初回振替請求データ作成時に口座取扱通知を発行できること。 ■当初予定していた口座振替の停止を行えること。 ■振替停止者リストを出力できること。 ■1度目の振替で振替不能であっても、再振替に伴う口座振替データ作成ができること。 ■口座振替日、再振替回数等、収納サイクルの変化に柔軟に対応できること。 		
				3	クレジット決済	■クレジット決済に対応する拡張性を有すること。		
4	調定集計			1	調定集計	<ul style="list-style-type: none"> ■調定月別、調定年別、用途別等の集計ができること。 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 		

No.	業務名	No.	機能	No.	業務処理名	機能要件		
6	収納業務	1	料金支払い	1	納付書支払	<ul style="list-style-type: none"> ■コンビニ払い、スマホ決済による収入速報データ、確報データの受信、収入への反映を行うことができること。その際、速報、確報、取消データ集計表等CSV等にて作成できること。 ■手数料支払いのため、件数の集計を行い手数料を算定できること。 		
				2	口座振替	<ul style="list-style-type: none"> ■口座振替の結果をデータ形式で受信し、システム反映ができること。 ■口座振替手数料を支払うため、口座振替件数の集計を行い、各金融機関別のCSV等を出力できること。 ■口座の新規、変更登録をした場合に、口座取扱通知を発行できること。 		
		2	消込処理	1	消込処理	<ul style="list-style-type: none"> ■日次での処理として収入日ごとの料金収入データ(上水、下水)に対し、事業ごと(上水、下水)の料金内訳を指定し、システムへ消込を行えること(個別入金処理)。 ■調定金額と一致しない収入についても一部入金、または過誤納として消込み処理ができること。 ■公営企業会計システムへ消込するためのデータ出力、紙出力ができること。 		
		3	還付、充当	1	還付通知書	■過誤納等により還付金が発生した旨を通知するため還付決議書、通知書、内訳書の発行を行えること。		
				2	還付	■口座情報の登録がある水栓契約者(水栓使用者)に発生した過誤納金を登録口座へ還付するため、還付振込依頼データが作成できること。		
				3	充当	<ul style="list-style-type: none"> ■料金が過誤納となり発生した過誤納金を現在未入金となっている未納額(納期未到来分含む)に充当できること。 ■過誤納金を充当したことを通知するため、決議書、通知書、内訳書を発行できること。 		
		4	納入状況証明	1	納入状況証明	■水栓契約者(水栓使用者)が水道料金等を支払った場合に、支払ったことを証明する書類の発行ができること(インボイス対応)。		
		5	収入集計	1	収入集計	<ul style="list-style-type: none"> ■収入月別、調定月別、調定年別に収入額、件数を集計できること。 ■コンビニ分については、収納機関、収納日付(時間は任意)ごとに件数、金額を集計できること。 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 		
		6	未納集計	1	未納集計	<ul style="list-style-type: none"> ■調定月別、調定年別、用途別に未納額、件数を集計できること。 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 		
		7	還付集計	1	還付集計	<ul style="list-style-type: none"> ■調定年別、発生事由別に還付金額、充当金額、件数、返納額を集計できること。 ※必要に応じてデータ抽出ができること。 		
7	滞納整理業務	1	督促処理	1	督促処理	<ul style="list-style-type: none"> ■督促状を印刷できること。また、督促状発送一覧を作成できること(CSV形式等)。 ■督促状発送までの期間に収入のあった方の督促状採取リストを出力できること。 		
				2	停止予告処理	<ul style="list-style-type: none"> ■フラグ入力等により、停止予告該当者を抽出できること。 ■停止予告状を発行でき、該当者一覧を作成できること(CSV形式等)。 ■停止予告を発行の際、収納担当者毎に、発行対象者を選別する機能を有すること。 		
				3	給水停止	<ul style="list-style-type: none"> ■給水停止通知書を発行の際、収納担当者毎に発行対象者を選別する機能を有すること。 ■収納担当者が、作業結果を入力できる機能を有すること。 		
				4	給水停止解除	<ul style="list-style-type: none"> ■停水猶予、停水解除、メーター撤去等各項目、それらに関連する情報を入力できること(水道メーター指示数等) 		
				5	不納欠損	1	不納欠損(未収金)	<ul style="list-style-type: none"> ■権利放棄(不能欠損)処理に対応し、未収金をシステムから一括削除できること。 ■不能欠損事由をシステムに入力できること。 ■不能欠損額を確認するため、滞納集計リスト、滞納集計表を作成できること。 ※必要に応じてデータ抽出ができること。
						2	不納欠損処理	<ul style="list-style-type: none"> ■時効による不納欠損処理は、時効期間到来分のほか、時効期間到来前の債権についても不能欠損処理の対象とすること。 ■欠損となった調定に対して収納された場合、収納情報を簿外管理できること。 ■上水、下水で期間の異なった消滅時効に対応できること。